

楽寿園の整備、誘客推進

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第 25 回の今日は、「楽寿園の整備、誘客推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 楽寿園は、近年来園者が増加しており、昨年度は、年間で 3 2 万人来園されたと伺っております。

三島駅の南口駅前にある、三島市立の大きな公園ですが、楽寿園の整備事業とはどういったものでしょうか。

市長： 楽寿園は、面積でいえば約 75, 000 m²、東京ドーム約 1. 5 個分の広さがあります。今年の 8 月 18 日には来園者が通算 2200 万人を達成するなど、これまでに多くのお客様に来園いただいておりますが、来園者にさらに満足していただけるよう、この広い園内を整備して、楽寿園の魅力を向上させる取組みを行っています。

アナ： 具体的には、どのような取組みを行っているのですか。

市長： まず昨年度に行った取組みですが、国の交付金を活用し、お客様が自然をより身近に感じることが出来るように、園内の森の散策路を整備して、小浜池の藤棚も改修いたしました。また、市街地中心部からの景観に配慮し、楽寿園正門口に漆喰の塀を設置したほか、夜間に開催するイベントに対応するため、散策路には照明を設置いたしました。

さらに、馬の放牧場の改修や、どうぶつ広場の散策ルートを見直し、お客様があらゆる方向から動物たちを見学することができるように、お客様の目線に配慮した整備を行ったところです。

アナ： いろいろな整備をされているんですね。

市長： そうですね。飼育している動物につきましては、今年から、沖縄県与那国島の天然記念物である「与那国馬」2 頭が新たな仲間に加わり、その穏やかでやさしい気質が人気となっています。

アナ： 与那国馬には私も会いに行きましたが、とても大人しくて可愛らしいですね。これから先、予定している取組みにはどのようなものがありますか。

市長： 子供たちが園内で身体を動かして遊ぶことができるように、アスレチック遊具の設置や、新しい動物の仲間としてプレーリードックの飼育、展示を予定しています。この他にも、集客力のある魅力的なイベントを楽寿園でこれからも開催していく予定です。

アナ： それは楽しみですね。ところで楽寿園は、園内を歩いていると様々な種類の樹木が自生していて、自然の雰囲気を楽しむことができるのも魅力の一つですね。

市長： 楽寿園は平成 24 年 9 月 24 日に「伊豆半島ジオパーク」のジオサイトとして認

定されました。そして、今年の4月17日には伊豆半島がユネスコ世界ジオパークとして認定されました。楽寿園では、富士山から流れ着いた溶岩や、数多くの樹木、清らかな湧水を見ることができます。市民有志の方々が、ジオサイト見学会を開催しておりますので参加してみてもはいかがでしょうか。

アナ： 伊豆半島がユネスコ世界ジオパークに認定されたことを受けて、楽寿園では何か取り組みを行っていく予定がありますか。

市長： 毎年、秋に楽寿園で開催している「菊まつり」ですが、今年は10月30日から11月30日に開催いたします。今年のテーマは「楽寿園の大地・自然」。世界ジオパーク認定を意識した飾り付けを予定しております、例年とは趣向の違った、菊を用いた造作をお楽しみいただきたいと思います。

先に、伊豆半島がユネスコ世界ジオパークに認定されたことや、2020年に東京オリンピック、パラリンピックが開催されることを契機に、今後は外国からのお客様の誘客に努め、受け入れ態勢の基盤づくりが必要であると考えています。

アナ： これからは、外国人観光客にもPRできるような公園づくりが求められますね。

市長： 楽寿園には、三島溶岩を擁す小浜池などのジオポイント、小松宮様が築造した日本庭園など、外国の方にも十分楽しんでいただけるポイントがあります。また、楽寿館や郷土資料館に代表される歴史文化施設、お子様連れのお客様に大変人気のあるどうぶつ広場や遊具広場など、多種多様な施設があり、その来園目的とする場所へ、誰にとってもわかりやすく誘導できるように、英語も併記した誘導案内看板を設置する予定です。

一方、楽寿園では様々な方が行事活動や運営活動に関わっていただいておりますが、特にボランティアで活動を行っていただいている「楽寿園応援隊」や「市主催事業に携わる方々」にお使いいただく駐車場を整備し、より関わりやすい施設としての整備を行います。

これからも、お客様や民間団体の方々からのご意見やアイデアを参考にさせていただき、市民の皆様と協働活動により今後も楽寿園運営に努めて参ります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。